

第3回 湖西市職住近接・未来ビジョンアドバイザリーボード 会議議事録

開催日時：令和4年3月1日（火）10時30分～12時30分

会場：湖西市役所 市長公室（オンライン併用）

テーマ：令和4年度予算（案）、職住近接

発言者	発言内容
菊地委員	<ul style="list-style-type: none">・特に市外からの通勤者や外国人の湖西市への愛着を高めるため、地域との繋がりを持ってもらうためにはどうすればよいかを考えたほうがよい。・湖西市のアイデンティティをいかにしてこれから深掘りしていくかをぜひ更に進めてほしい。・元気な地域はよそ者・若者・ばか者と言われるような多様な主体が地域づくりに関わって、一種の化学反応を起こしてるところが多く、市外在住の就業者の方たちというのはある意味よそ者だが、関係人口になるかもしれない人。そういった人たちをいかに地域の応援団にしていくか、それで多様性を進化させていくということが課題のひとつ。・地方へ移住する人の考え方は、利便性とか経済性中心の考え方ではなくて、自然や地域、人と繋がって人間性を回復したり、生きがいを見いだしていく。地域と関わるクリエイティブな事業がこの地域でできて住んでもらえるような湖西になると良い。・長期継続で職住近接をやり続けることが大事。・女性や若者への支援は社会的投資になる。・マジョリティだけでなくマイノリティにも光を当て、皆が元気なのが魅力あるまち。
井上委員	<ul style="list-style-type: none">・小中学生への投資。何かひとつに特化して、この特徴があるんだという湖西市の特徴を示して教育で湖西市へ来てもらう。・市に愛着を感じられるような仕掛けがあると良い。湖西市の日という感じで製造業の工場を見に行くなど、湖西市はこういう街だというのが理解できるようなプログラムで愛着を作ってもらえたら良い。・豊橋技科大の先端農業バイオリサーチセンターで6次産業化を学んだ後、起業するのはだいたい女性。スマート農業の育成も重要になる。
岩間委員	<ul style="list-style-type: none">・「佐吉の郷スタートアップ支援事業」でヒト・モノ・カネのうち「ヒト」として起業したい人をごから連れてくるのかのプランが欲しい。・市内企業の従業員に、湖西市への愛着や繋がりを問うアンケートを行い、良いところ悪いところを洗い出してもらって、外から見た湖西の意見を吸収して市の取り組みに反映させていく仕組みがあると良い。
海野委員	<ul style="list-style-type: none">・畜産臭気など、移住意欲を阻害してる要因を一つ一つ除いていくというのも大事。

<p>大倉委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・湖西にある湖西にしかない景色をモノづくりで表現して、世界に発信できたらいい。 ・子育ての課題は夫婦の課題であり、子育て支援策のその先として、夫婦を含めた家族の舵取りに繋がる施策が必要。
<p>土居委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職住近接によって夜間人口が増えるということになれば住民税が入り、財政基盤も強くなることで交付税不交付団体になりやすくなるので、目指す方向は、不交付団体は甘受する代わりに市民の方からいただいた税金をより良く使うということに注力するのがいい。 ・製造業ではその製造過程からできるだけ CO2 を排出しないようにしようということを元請会社からも要請がかかっている状況なので、地元の中小企業にもそこを支援して、サプライチェーンの中できちんと排出量を抑制するという形で生き残っていけるようにするということはとても大事。 ・財政調整基金を取り崩しているが、いずれまた施策が一段落したところで、しっかり基金も、また適正な水準に戻していくということを今後数年後ぐらいに考えると良い。 ・湖西市と浜松市・豊橋市では行政事務の権限配分に違いがあるので、湖西市は静岡県とも連携しながら、湖西市になく、静岡県が持っている権限のところでは不利にならないように働きかける必要がある。 ・製造業は理系の側面が強く、男性が多い傾向にあり、相対的に女性は文科系が多い。製造業が多く男性の従業員が多いということは文科系の働く職場が少ないということで、文科系の職場が増えるように働きかけると、女性もそこで勤務しやすく男性も女性も湖西市がいいという話になり、職住近接という観点からでは一つのポイントにもなる。
<p>野村委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・豊橋浜松みたいなお店が湖西にあれば、来るんだろうかっていうところは、ちょっと違う ・湖西にあること、ないことが魅力だという人たちにターゲットを決めるなど、地道に継続して根気よくやらないといけない。 ・どれだけのニーズがあって、そのニーズに応えるべき予算編成なのかっていう、その調査をされたかどうか。施策を見極めるためには、どういう町を目指してどういう人に住んでもらおうかという湖西市のアイデンティティのターゲティングができているとそこが見極めやすくなる。 ・臭いの問題がある一方で、安全で安心な食肉生産は誇るべきことで、絶対に守っていかねばいけない。逆にそのマイナスを逆手に取ってアピールするとか、1回アイデンティティは絞る必要がある。 ・浜松や豊橋と同じような見た目の顔の街になって欲しくない。
<p>袴田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住む人の課題として買い物、公園などの環境についてよく話に出る。 ・モノづくり産業ネットワークに市が参画することが中小企業にとっては大きな一歩。中小企業のモノづくりに対して真正面に目を向けてくれるようになったと感じる。 ・令和4年度予算で、ゼロカーボンなど中小企業がどうやって次の新しいものに進んでいくのが課題で、そこも市に参加して欲しい。